

補聴器を“隠すもの”から“見せるもの”へ！ スタイリッシュなデザインの「フォナック バート マーベル」シリーズを新発売 ～オーダーメイド補聴器としては世界初となるBluetooth®対応でハンズフリー通話可能な商品も～

聴覚機器及びワイヤレス通信機器の世界的リーディングカンパニーとして躍進を続けるソノヴァ社（グループ本社・スイス連邦）の日本法人ソノヴァ・ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：齋藤 広幸）は、新商品「フォナック バート マーベル」シリーズを、2020年5月20日(水)に発売します。本シリーズの「フォナック バート M-312」は、オーダーメイド補聴器としては世界初となるBluetooth®対応(※)で、ハンズフリー通話が可能になるなど機能性にもこだわった商品となっています。また、補聴器のデザインに抵抗がある方でもつけやすいよう、ワイヤレスイヤホンのようなスタイリッシュなデザインに仕上げました。※2020年3月現在(当社調べ)



※フォナック バート M-312



※装着イメージ

今回の新商品は、補聴器に対する抵抗感を軽減したいという考えのもとで開発されました。近年、スマートフォンや携帯型デジタルオーディオプレイヤーを使い大音量で音楽を聴く人が増え、難聴のリスクが高まっています。また、加齢性難聴は早くて50代から始まるため、難聴は多くの方が注意しなければならない問題となっています。一度落ちた聴力を回復することは非常に困難です。聞こえにくい時間が長ければ長いほど悪化していくため、聞こえにくさを感じたら早めに耳鼻咽喉科を受診し、補聴器の使用を始めるなどの対応が必要です。

しかし、JapanTrak2018の調査によると、重度難聴者で43%、軽度難聴者では10%しか補聴器を使用していません。装着したくない理由としては、デザイン性の問題により、つけていることが周囲に分かってしまう恥ずかしさや、異物感などの煩わしさが挙げられています。

このような背景から、この度、デザインに抵抗があった方でもつけやすいワイヤレスイヤホンのようなスタイリッシュなデザインの補聴器を発売することとなりました。また、本シリーズはオーダーメイドであるため、自分の耳にぴったり合った形に仕上がりと、装着時の違和感を感じにくくなっています。さらに、本シリーズの「フォナック バート M-312」はオーダーメイド補聴器としては世界初のBluetooth®対応のため、ハンズフリー通話が可能になるなど使用シーンの拡大も実現します。

今後も、生活者が装着しやすい補聴器の開発を進め、補聴器の装用が当たり前となる世の中の実現に貢献いたします。

◆「フォナック バート マーベル」の特長

①ワイヤレスイヤフォンのようなスタイリッシュデザイン

補聴器のデザインに抵抗がある方のために、「フォナック バート M-312」はスタイリッシュな“見える”デザインに仕上げました。また、「フォナック バート M-チタン」は、強度の高いチタンをシェル素材として用いることで、従来比50%(*1)にあたる厚さわずか0.2mmのシェルを実現、より小型のオーダーメイド補聴器となりました。(*1)フォナック バート V-nanoとの比較

②オーダーメイド補聴器としては世界初のBluetooth®対応 (フォナック バート M-312のみ)

iOS、Android™だけでなく、フューチャーフォンを含むBluetooth®対応の携帯電話とペアリングし、ハンズフリーで通話ができます。また、音楽や動画の高品位なステレオ音声を楽しむことができます。マイフォナック アプリをダウンロードすれば、スマートフォンで音量の調節、保存や呼び出しが可能です。

③騒がしい場所でも雑音を抑える機能

日常の音環境を考慮して設計されているため、どこでもシームレスに周りの音に適応し、補聴器まかせでよりクリアで聞き取りやすい会話を実現します。また、「フォナック バート M-312」はオプションのテレビコネクターDを使い、テレビの音声をダイレクトに補聴器に届けることも可能です。

④ロジャーダイレクトを搭載し、複数人の会話や離れた相手との会話もサポート (フォナック バート M-312のみ)

フォナックの「ロジャー」はワイヤレスマイクで拾った音声を補聴器に届けるシステムです。「フォナック バート M-312」は、マイクホンからの音声を、外部受信機なしで直接受信することができる画期的なロジャーダイレクト機能を搭載。複数の人が同時に話す場所や、話し手が離れた場所にいる会議・レストランなどのシーンでも聞こえをサポートします。

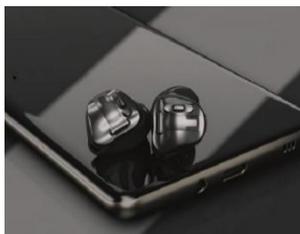
◆ニーズに合わせて選べる4種類の「フォナック バート マーベル」

新発売「フォナック バート マーベル」は全部で4種類。様々なニーズに対応する商品を取り揃えています。

見た目・機能どちらも重視

極小サイズでスタイリッシュなデザイン、ハンズフリー通話など「つながる」機能が活用可能、デザイン性と機能を両立させたタイプ

バート M-312 (M/P/SP/UP)



見た目を重視

チタン素材で極小サイズの、目立ちにくいタイプ

バート M-チタン (M/P/SP)



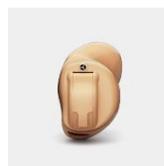
操作がシンプルで、目立たないタイプ

バート M-10 NW O (M/P/SP)



なるべく電池が長持ちするタイプ

バート M-312 NW O (M/P/SP)



●カラーバリエーション

〈シェル〉



バート M-チタン限定コンビネーション



●価格

クラス	チャンネル数	バート M-10 NW O / バート M-312 NW O	バート M-312	バート M-チタン
M90(プレミアム)	20ch	片耳 555,000円	片耳 570,000円	片耳 575,000円
M70(アドバンス)	16ch	片耳 385,000円	片耳 400,000円	片耳 405,000円
M50(スタンダード)	12ch	片耳 295,000円	片耳 310,000円	
M30(エッセンシャル)	8ch	片耳 198,000円	片耳 218,000円	

※一部の製品にはお選びいただけないカラーがあります。

◆フォナックのオーダーメイド補聴器の特長

①国内で熟練の技術者がひとつひとつオーダーメイド

当社の耳あな型補聴器は、東京都品川区にあるソノヴァ・ジャパンの天王洲オペレーションセンターにおいて、高度な技術を持った専門スタッフが、ひとつひとつオーダーメイドで製作※。すべてのプロセスは、スイス本社が定める世界基準に則って行われています。※チタン製、一部製品を除く。

②こもり感を軽減するなど「選べるベントオプション」をご用意

ベントとは、補聴器の外側と内側をつなぐ通気孔のこと。補聴器を装着した時に発生する自分の声の響きや違和感は、このベントによって軽減できます。当社独自のオープンベントをはじめ、各種のベントオプションをご用意しています。

③「バイOMETリックキャリブレーション」で音もオーダーメイド

耳の解剖学的構造に対応した1600以上のポイントから得られる情報をもとに、指紋のように個々に異なる耳の形状を精密に分析。耳介で発生する音響効果をそれぞれの耳に合わせて作り出すことができる機能です。フォナックの耳あな型補聴器は、この先進的な機能を採用しています。

◆フォナックについて

スイス・ステファに拠点を置くソノヴァグループのフォナックは1947年に設立され、補聴器、ワイヤレス機器を開発しています。聴覚に特化した専門技術と聴覚ケアの専門家との強い協力関係の下、製品を通じて世界中の人々の豊かな聞こえをサポートし、QOLの向上に貢献してきました。フォナックの多彩な製品は世界100カ国以上で愛用されています。補聴器の小型化、性能の分野において補聴器業界のベンチマークとして位置づけられ、聴覚分野のリーディングカンパニーとして躍進しています。 ※詳細は <https://www.phonak.com/jp/ja> まで。

◆Phonak - Life is on

フォナックは、よりよい聞こえが人々の健康に深くつながり、人生を豊かにするために欠かせないものと考えています。そのため、私たちは70年以上にわたり、補聴器やワイヤレス通信機器などの研究開発に情熱を傾けてきました。

これからも、聞こえに悩むすべての人々のアクティブで健康的な毎日を支え、前向きな心と豊かな感性を育むために、革新的な聞こえのソリューションをお届けします。

自由な交流と自信に満ちたコミュニケーション。

豊かな人生のために、さあ Life is on !

PHONAK
life is on

【ソノヴァ・ジャパン株式会社】

所在地 : 〒141-0031 東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田

TEL : 03-5436-4050

HP : <https://www.phonak.com/jp/ja>

公式ブログ : <https://www.kikoeblog.jp/>